

令和7年度博物館職員等在外派遣事業 オンライン成果報告会

派遣成果報告

派遣先 ラインベックハレン財団、C/O Berlin(ドイツ)

令和8（2026）年3月17日

神奈川県立近代美術館 主任学芸員
三本松倫代

1. 派遣期間

2025年11月24日－12月3日

2. 派遣内容

博物館の機能強化に関する

- ・価値の形成過程にある近現代の美術品等博物館資料の国内外への発信・評価向上

- ・専門的人材による博物館事業や活動の実践

を主な調査目的とし、**近現代写真の展示と活用**について

受入先等で **作品・保存環境の実見およびヒアリング**

視察先で **展示の視察と資料収集**

を行った。

3. 調査先

受入先

ラインベックハレン財団（ベルリン）[a]

C/Oベルリン（ベルリン）[b]

訪問・視察先

写真家スタジオおよびエステート（ベルリン）

新国立美術館（ベルリン）

国立写真美術館（ベルリン）

ヘルムート・ニュートン財団（ベルリン）

ルートヴィヒ・フォーラム（ベルリン）

ブランデンブルク州立近代美術館（コトブス）

ライプツィヒ造形美術館（ライプツィヒ）

a



b

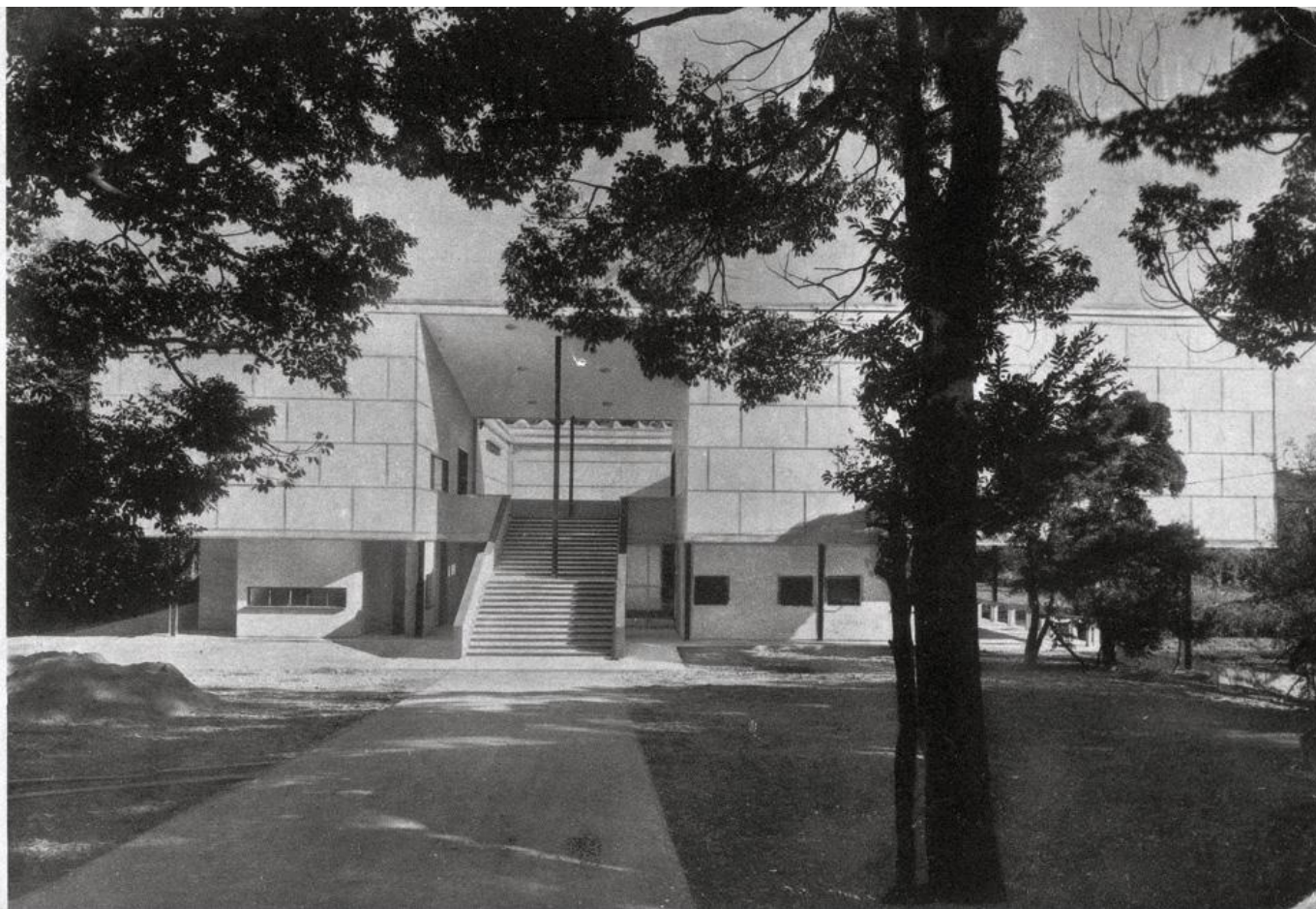


3. 調査目的の背景

「近現代の美術品等博物館資料の発信・評価向上」と写真紹介の重要度



<https://www.moma.pref.kanagawa.jp/collection/archives/>



神奈川県立近代美術館 鎌倉 1951年開館 2016年閉館
(現・鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム)

鎌倉館を訪れたル・コルビュジエと
坂倉準三 1959年



葉山館

「若江漢字とヨーゼフ・ボイス 撮影されたボイスの記録、そして共振」展（2025） 撮影：山本糾

1984年のヨーゼフ・ボイス来日を若江漢字が記録した写真など

寄託資料のデジタルアーカイブ化（作業中）と、ニュープリントによる展覧会制作の並行



美術展としての写真展

葉山館

「アレック・ソス Gathered Leaves」展（2022）



撮影：白井晴幸

葉山館

「上田義彦 いつも世界は遠く、」展（2025）



撮影：永禮研

3. 調査目的の背景

「専門的人材による博物館事業や活動の実践」

写真の所蔵・展示機関の視察・ヒアリング

受入先

ラインベックハレン財団（ベルリン）[a]

C/Oベルリン（ベルリン）[b]

訪問・視察先

写真家スタジオおよびエステート（ベルリン）

新国立美術館（ベルリン）

国立写真美術館（ベルリン）

ヘルムート・ニュートン財団（ベルリン）

ルートヴィヒ・フォーラム（ベルリン）

ブランデンブルク州立近代美術館（コトブス）

ライプツィヒ造形美術館（ライプツィヒ）

a

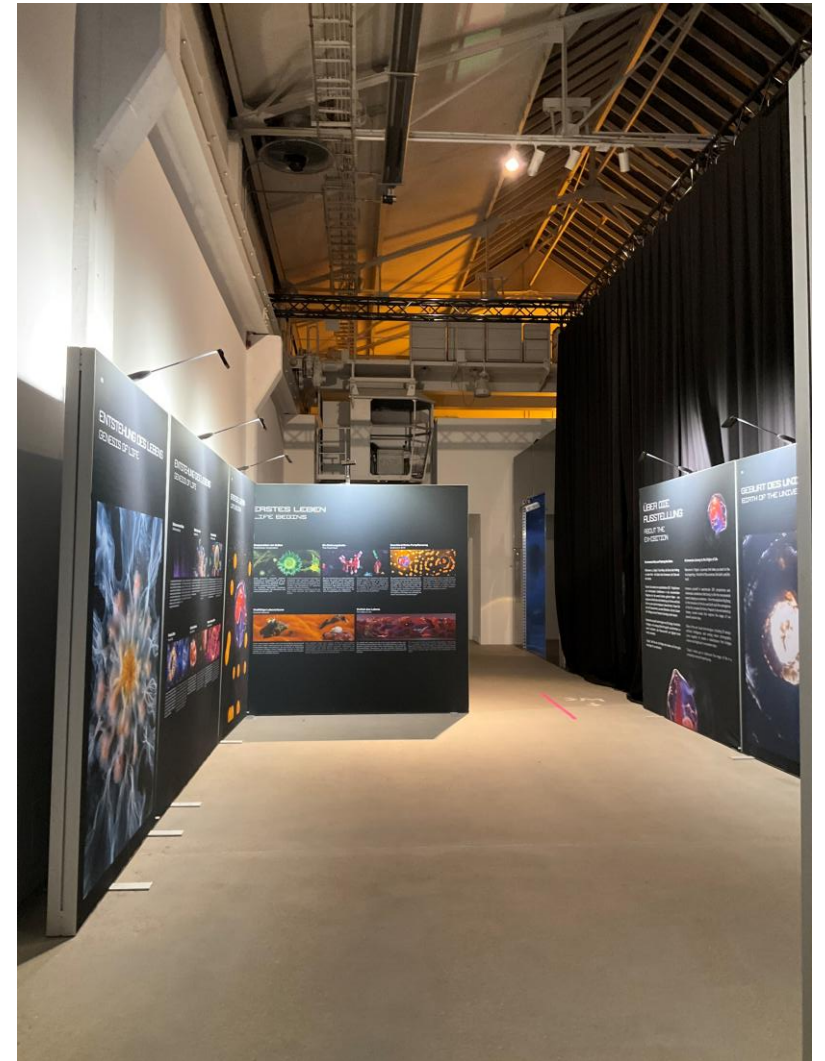


b

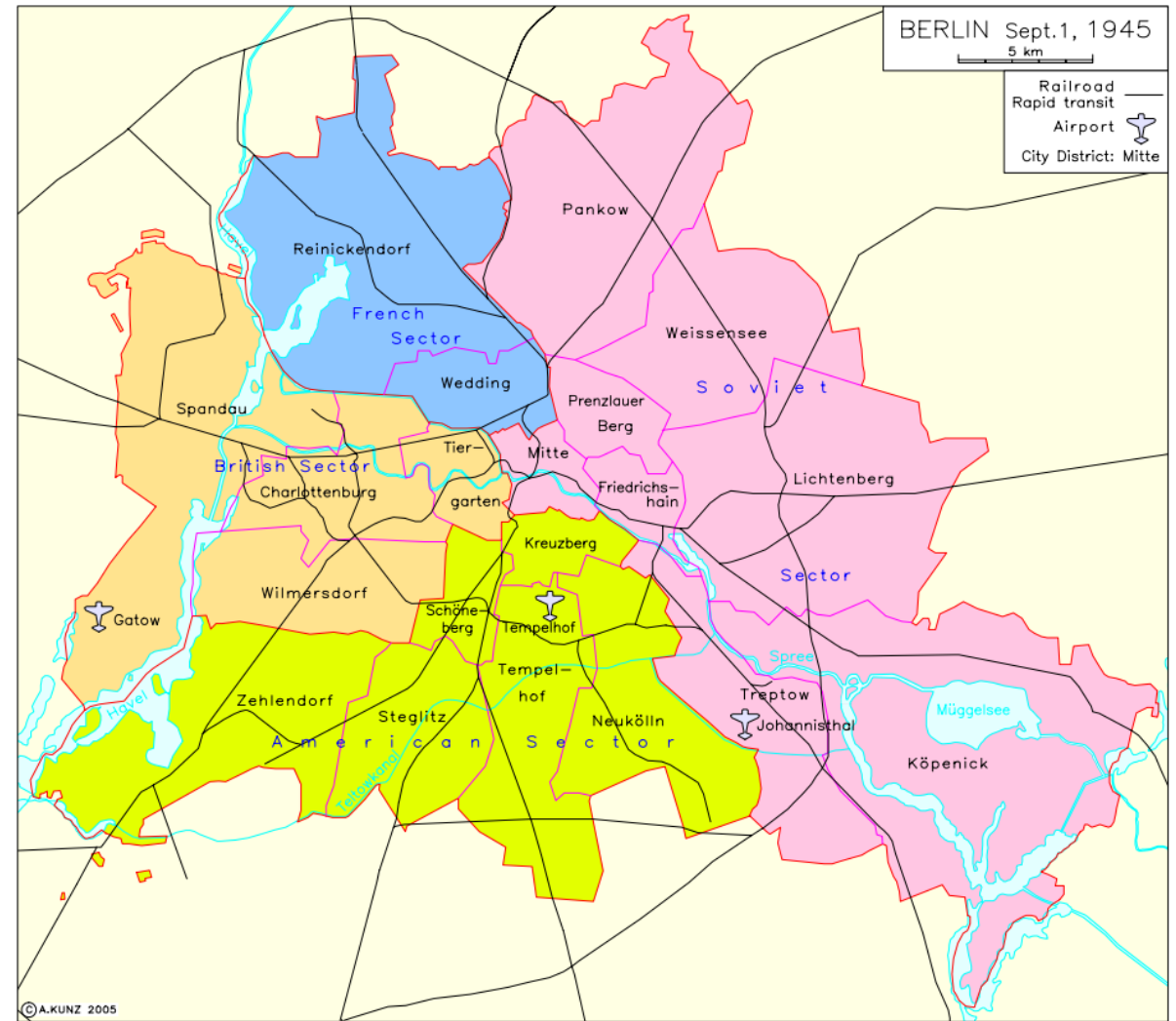
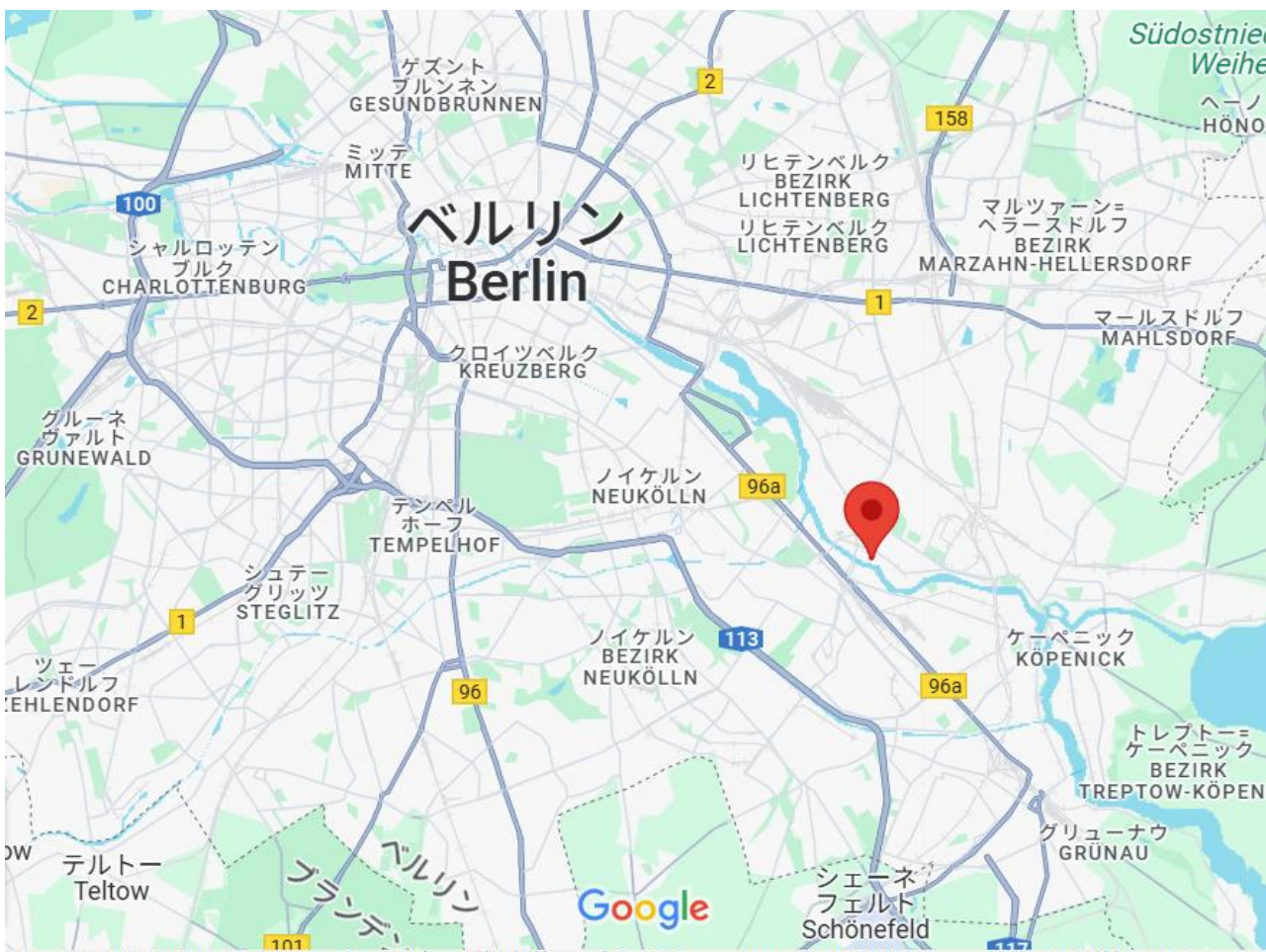


4. 派遣成果：受入機関の概要と成果

4-1. ラインベックハレン財団（ベルリン）Stiftung Reinbeckhallen



2016年 コレクターのスヴェン・ヘアマン氏が財団創設。ドイツ再統一後の一帯施設の再開発も手掛ける。
以下、出典のない画像は発表者撮影 2025年11月～12月



ラインベック財団位置：旧東ベルリンの工場地帯。シェーネフェルトにブランデンブルク国際空港発足。
市内中央駅からSバーンで45分程度。

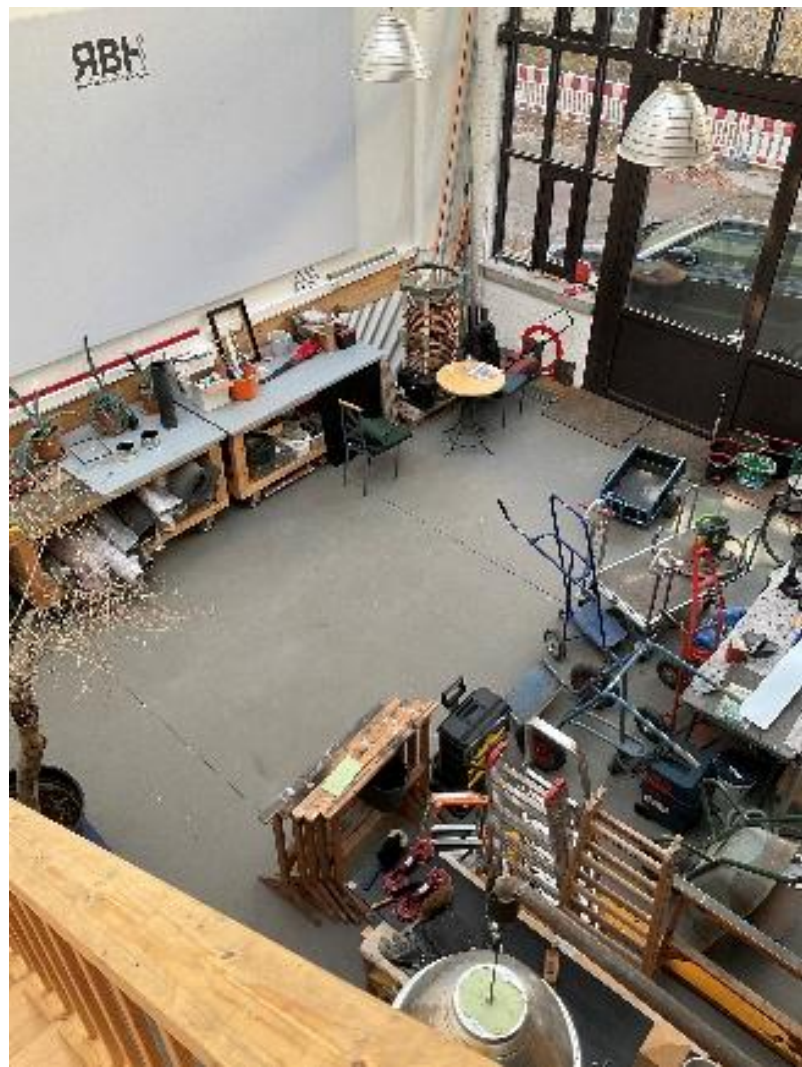


ラインベック通り 9 – 4 9 入口の施設図

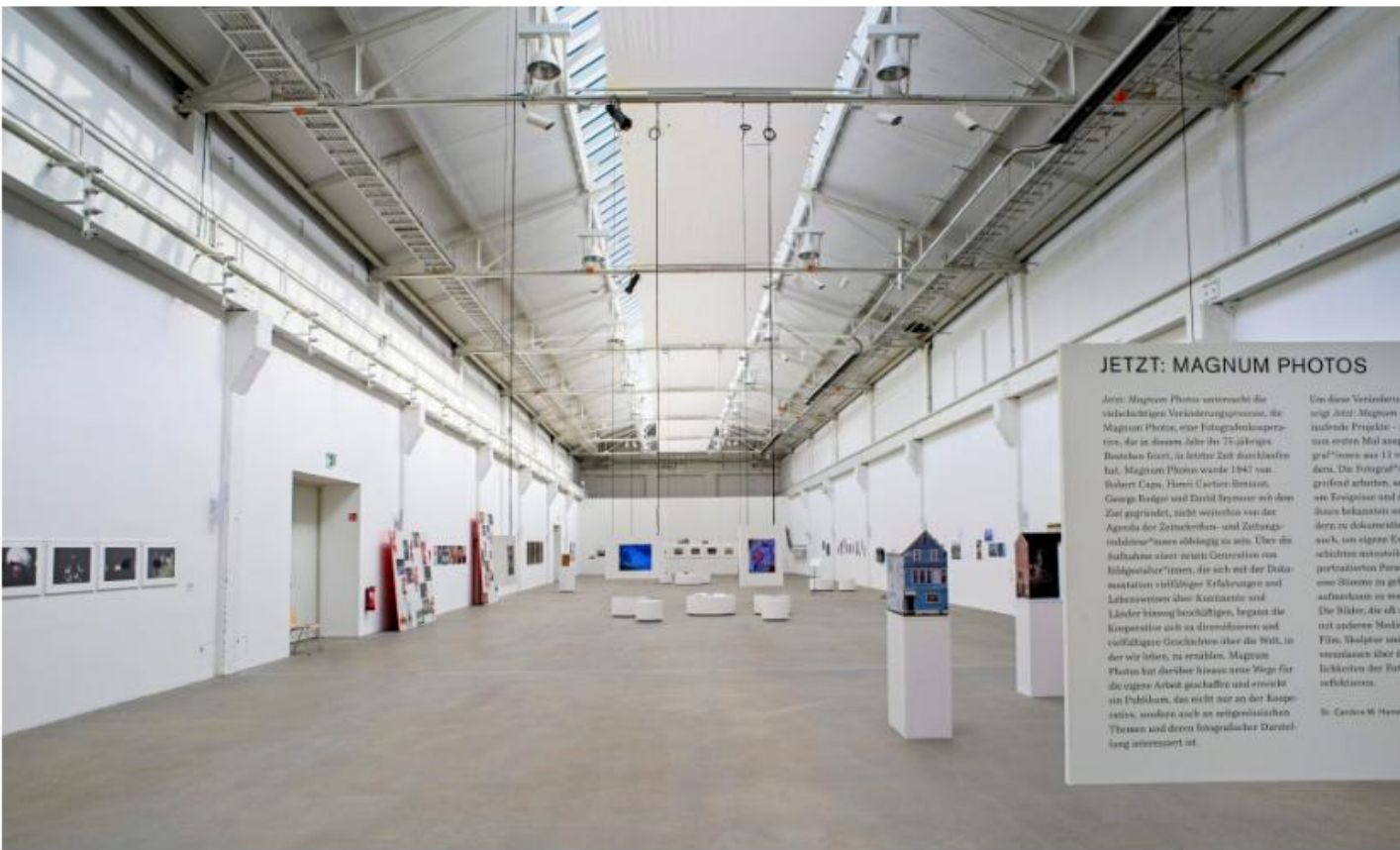
建物に面した緑地とシュプレー川



建物側面の1区画にある財団事務所、奥に印刷・版画工房。



印刷版画工房エリア 造作作業スペース



左：財団ウェブサイトより
<https://en.stiftung-reinbeckhallen.de/about-us/>
 右：訪問時の展示風景（非自主事業）



印刷・版画工房 子ども・教員むけワークショップを行う



財団事務所内での所蔵写真調査作業
旧東独時代の女性写真家によるヴィンテージプリント
約260点を実見・調査



ジビレ・ベルゲマン
《記念碑、ベルリン、1986年2月》

4-2. C/Oベルリン C/O Berlin



2000年 写真家、デザイナー・建築家の3人が創設した非営利の写真振興施設。ミッテ地区（旧東独）で活動後、2014年より（旧西独） Zoo駅近くの「アメリカ・ハウス」（米情報センター）を拠点とする。



Dies ist eine exa
Bieke Depoorter
der Unterhaltung

This is an exact
Depoorter took
invites you to ad



フォトエージェンシー「マグナム」75周年記念展「Close Enough」（女性写真家12人を紹介）会場風景
施設内スタジオでの青少年向けワークショップ、講演会、写真展の国際共同制作などを行う。

4. 派遣成果：視察先



左から：
ヘルムート・ニュートン財団「ダイアローグ」展、 国立写真美術館「リコ・プールマン」展
Zoo駅裏の旧カジノ施設の建物。同一建物内に両ミュージアムがある。

4. 派遣成果：視察先



左から：

マリア・ゼフツ氏スタジオ、ジビレ・ベルゲマン・エステート、ウーテ・マーラー氏と作品保管室

旧東ドイツでキャリア形成を始めた女性写真家たち。ラインベックハレン財団収集作家。

4. 派遣成果：視察先



左から：

ブランデンブルク州立近代美術館「日々を数えて」（米ゲティ研究所と協働）東独の地下出版物展。
ライプツィヒ造形美術館「ハンス＝クリスティアン・シンク On Land」東独出身・制作の写真家。

4. 派遣成果：視察先



新国立美術館（ベルリン、旧西独）
コレクション展「断裂試験：政治と社会の狭間の美術 1945–2000」
見出しと解説の表裏構成（中、右）



5. 研修成果の活用計画としての企画展（予定）

「もはやない国のかつてない光：東ドイツの女性写真家たち」

2026年6－8月 神奈川県立近代美術館 葉山で開催予定。図録制作ほかシンポジウム等を開催予定。

Unprecedented

Women Photographers from the GDR

もはやない国のかつてない光 東ドイツの女性写真家たち

2026.6.13 Sat - 8.30 Sun

神奈川県立近代美術館 葉山

Phone: 030-5700 & ext. 1000 / 1001
Hours: 10:00 - 17:00 (Last admission 16:30)
Admission: Adults: 1,500 yen / Under 20 and Students: 1,000 yen / 65 and over: 500 yen / High School Students: 100 yen / Junior High School Students and under 16: Free
*Please check our website for the latest information.
Organized by The Museum of Modern Art, Hamamatsu & Hayama with the cooperation of Stiftung Kunstschaffen, GDR/GDR Berlin, Goethe-Institut für Deutschland e.V. & Kunsthaus Hamburg e.V.

第二次世界大戦後、東西に分断されたドイツ。1990年の再統一によって消滅したドイツ民主共和国（東ドイツ）で女性写真家としてキャリア形成し、自身の芸術表現としても優れた作品を手がけたことは、ドイツ写真史の再考において避けては通れない事実です。

とりわけ1970年代の後半以降、東ドイツで写真法を自らの芸術形式として認識され、女性写真家たちは政府の委託、雑誌、プライベートといったさまざまな媒体で撮影を行い、自らの表現を遂げます。ドキュメンタリー、ストリート、ファッション、ポートレート、コンセプチュアルなど多岐にわたるジャンルにわたる作品に注ぎ、東ドイツの複雑な社会を捉えようとする意図と同時に、写真というメディアの可能性を探求する姿勢が表れています。

ベルリンのタインベックハレン財団が収蔵するヴァンダーグーブリントを基に、当時、あるいは現在も重要な作家として活動する東ドイツの女性写真家を紹介する本展は、かつて存在した国で社会と自然の光景に注がれた繊細な視線と確かな芸術性を感じ、それらの作品が現代文化にもたらした影響、そして今なお持つ魅力を考えるものです。

After World War II, Germany was divided into East and West. Women who forged careers as photographers in the German Democratic Republic (East Germany) before its dissolution in 1990, and who produced outstanding works of artistic expression, represent a perspective that has often been overlooked in re-examining the history of German photography.

Particularly from the late 1970s onward, photography was recognized as an autonomous art form in East Germany. Women photographers worked for various purposes such as state commissions, magazines, and private projects, distributing their creations widely. Works in this exhibition span diverse genres including documentary, street, fashion, portrait, and conceptual photography, reflecting a dual focus on depicting East Germany in all its complexities and exploring the potential of the photographic medium.

Featuring fifteen women photographers from the collection of Berlin's The Beckhoff Foundation (Stiftung Kunstschaffen), renowned for its vintage prints, this exhibition introduces artists who were significant figures at the time and who remain influential today. Through their work, viewers encounter refined perspectives and assured techniques directed toward society and everyday life in a nation that once existed. It invites viewers to explore the role these works unprecedentedly played in diversifying visual culture and to consider the enduring allure they continue to possess today.

神奈川県立近代美術館 葉山

The Museum of Modern Art, Hayama

〒242-0292 神奈川県鎌倉市葉山一丁目220-1
2128-1140 (Tel.) Hayama, Kanagawa 242-0291
Tel. 046-875-2820 Fax. 046-875-0168
www.moma.pref.kanagawa.jp

チラシ表裏【制作中、発行前】